



是永 宙 議員

ゴミ処理施設の 建設計画を問う

問

ゴミ処理施設計画が「最小の経費で最大の効果」となる計画となっているか。

答

今後の造成計画や具体的な建設計画の中で明確にしていきます。

問

滋賀県が1000年確率を公表した場合、計画を見直すのか。

答

環境部長
今後、県が公表した場合、1000年確率が必要であるかないかを含めて検討します。

問

想定以上の雨が降り、施設設備に損害が出た場合の責任の所在は。

答

環境部長
不可抗力による施設損傷は市のリスク分担となります。

問

災害廃棄物ストックヤードからごみが流出した場合、市の責任になるのか。

答

環境部長
施設で処理できる量、天候なども考えて、管理運営される事業者と協議し、そうしたことがないように十分対策を取っていきます。

問

災害廃棄物ストックヤードは最大どれくらいの量を保管できるのか。

答

環境部長
施設の処理可能な量を仮置場から運搬し、随時処理を行っていく想定です。

問

基本計画で想定されている災害廃棄物ストックヤードの面積は。

答

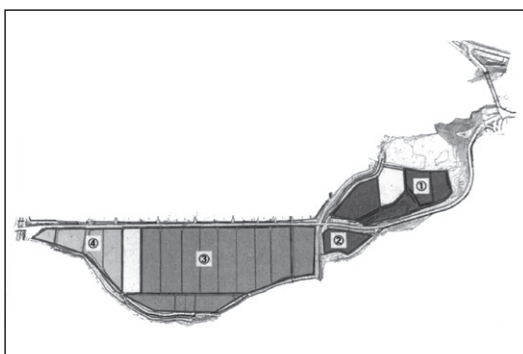
環境部長
約6千3百平方メートルです。

問

公募時は2万平方メートルを想定していたはずで、想定に対して狭すぎるのではないか。

答

環境部長
応募された中で決定いただいた地形等により、活用方法が変わるということがあります。今の計画面積は施設建設には十分必要であると考えますが、その他は柔軟な対応をしていきます。



建設予定地の敷地内活用方法・新ごみ処理施設整備基本計画書（案）より転載